

研究活動報告（令和三年一月～十二月）

〔学会〕

三月十八日 創価大学『日本語日本文学』第三十一号 発行

十月十五日 日本語日本文学会（学生の部）十三時〇五分
～ オンライン開催

十一月十二日 日本語日本文学会 令和三年度年次大会
十四時五十分～ オンライン開催

〔会員〕

◇山本忠行教授◇

三月二十日 大学日本語教員養成課程研究協議会二〇二〇年度シンポジウム「社会の変化に対応した持続可能な日本語教員養成課程に求められるもの」(オンライン)で「日本語教師の資格化の議論の概要と問題点の整理」(大学日本語教員養成の観点から)との題で発表。

三月二十五日 「日本語教育振興協会評議員会」(オンライン)に評議員として出席。

三月二十九日 国際交流基金日本語パートナーズ事業委員

会(オンライン)に委員として出席。

四月二十三日 創価大学日本語日文化教育センター令和三年度第一回FD(オンライン開催)で「新たなブリッジ教材開発へ向けて～考えさせる文型練習の開発～」の題で発表。

六月二十八日 「日本語教育振興協会評議員会」(オンライン)に評議員として出席。

八月九日 論文「言語による価値創造を目指して(5)——文型の文脈化を意識した練習法の開発——」(『創価大学通信教育部論集』二十四号 pp.1-30)

八月十五日 杉野俊子監修『つながる』ための言語教育(『明石書店』の第1章「つながってこそ」ことば——コミュニケーションのための言語教育を目指して——)(pp.20-23)を執筆。

九月十八日 大学英語教育学会言語政策研究会定例研究会(オンライン開催)で「モザンビークの言語政策——植民地時代から独立後まで」を発表

十月十七日 大学日本語教員養成課程研究協議会「大養協

30周年記念シンポジウム「社会を築くことばの教育―日本語教員養成のこれまでの30年、これからの30年―」で歴代代表理事の一人として座談会に参加

十二月一日 「自立学習入門講座58―レポート課題の意味を理解するためのスキル―」を『学光』第四十六巻第五号（創価大学通信教育部）に執筆。

十二月二十三日 「日本語教育振興協会評議員会」（オンライン開催）に評議員として出席する。

◇平林香織教授◇

十二月二十五日 単編著『丹木の丘論集―日本古典文学の誘惑―第一集』世音社、総ページ数285ページ

十二月三十一日 単著論文「西鶴の地域意識序論」(右所収、8～25ページ)

◇山岡政紀教授◇

二月一日 “A dictionary of considerate expressions”, *Impact*.

Critical Thinking in Social Sciences, Volume 2021, No.2 (February), Science Impact (英国学術誌)

三月十九日 研究発表「配慮表現『自分で言うのも何ですが』に関する考察―配慮表現データベース入力例として―」(第十二回日本語コミュニケーション研究会)

三月二十日 「日本語配慮表現データベース構築プロジェクト報告(三)―二〇二〇年度の活動報告―」『日本語コミュニケーション研究論集』第九号、日本語コミュニケーション研究会

三月三十日 「配慮代名詞「何」を用いた配慮表現―前置きの「」のも何ですが」を中心に―」『国語学研究』第六十集、東北大学大学院文学研究科「国語学研究」刊行会

六月二十九日 Panel Organizer panel “Contrastive Study for Considerate Expressions”, The 17th Conference, International Pragmatics Association (国際語用論学会、オンライン)

六月二十九日 Oral Presentation: “How Universal are Considerate Expressions?”. (In the aforementioned panel)

六月三十日 「配慮表現はいかに普遍的であるか」『日本語用論学会第二十三回大会発表論文集』第十六号、日本語用論学会

八月二十六日・二十七日 第十三回日本語コミュニケーション研究会を主催者として開催。科研費の研究分担者・協力者を中心に三十名が参加。

八月二十六日 基調講演「配慮表現データベースの現状と将来構想」(第十三回日本語コミュニケーション研究会)

九月一日 「日本語配慮表現の定義・分類・語彙」『日本語
語用論研究』（日本学研究会 第九章）、北京外国語教
学与研究出版社

十一月二十七日 Panel Chair: Literature Panel V, The
Second Online International Conference “Memory & Past
in South Asia”, South Asia Research Center, Soka
University（創価大学南アジア研究センター国際会議、
オンライン）

十二月十八日～二十九日 日本語用論学会第二十四回大会
（オンライン）大会総務委員長を務める。

十二月十八日 ワークショップ「配慮表現の普遍性と個別
性をめぐって」を主催（日本語用論学会第二十四回大会）
十二月十八日 研究発表「副詞による賛同表現の日英対照」
（同右ワークショップ）

十二月二十日 共編著『創学研究Ⅰ―信仰学とは何か』（創
学研究所編）第三文明社

十二月二十日 「御書根本と信仰体験―『新・人間革命』
に描かれる地涌の菩薩たち―」（『創学研究Ⅰ』所収）

十二月二十日 「信仰と学問の間で―それぞれの人生体験
から 5創学研究所との質疑」（同右所収）

十二月二十日 「書評」佐藤優著『池田大作研究 世界宗
教への道を追う』（同右所収）

一月～十二月 日本語用論学会評議員・常任委員として、
学会運営、査読等にあたる。

◇守屋三千代教授◇

三月十四日 「ナル表現研究会」（「ナル表現」研究会と現
在の課題」於ナル表現研究会（科研費基盤研究
C16K00217「ナル表現」の認知言語学的研究―類型論を
視野に入れて―」に基づく）書籍刊行に向けた事前打ち
合わせ（Zoom）

三月十八日 論文「ナル表現」研究の現在と課題―通言語
学的に考える―『日本語日本文学』三十一号 pp.1-10
創価大学日本語日本文学会

三月二十五日 「ナル表現研究会」書籍刊行に向けた執筆
者ミーティング（Zoom）

三月二十六日 「同研究会」同ミーティング（Zoom）
八月十二日 「同研究会」各章の原稿に関する執筆者全体
ミーティング（Zoom）

八月十六日 「同研究会」同全体ミーティング（Zoom）

八月十七日 「同研究会」同全体ミーティング（Zoom）

◇山中正樹教授◇

三月十六日 分担執筆「第三章 〈文化記号論〉への招待」

(寒河江光徳他編『表現文論入門 インターメディアリ
テイへの誘い』(二〇二一年三月、第三文明社) pp.125-
212)

三月十八日 論文「川端康成の文学―序論 その基礎的考
察―」(『創価大学日本語日本文学』第三十一号)

◇大塚望教授◇

三月二十日 論文「重複語(疊語) している/した」に
ついて―形容詞性接尾辞「ばい」「らしい」との比較―
『日本語日本文学』三十一号、十一ページ〜二十九ページ、
創価大学日本語日本文学会

◇李丹助教◇

三月十九日 研究発表「配慮表現としての『たしかに』の
中国語への対訳について」(第十二回日本語コミュニケーション
ション研究会)

三月二十日 論文「副詞『たしかに』の慣習化にみる未実
現事態への危惧」『日本語コミュニケーション研究論集
第十号』日本語コミュニケーション研究会編

四月十八日 研究発表「从日语配慮表达『たしかに』看汉
语副词的立场表达」(第四届互动言语学与汉语研究国际
学术討論会・中国社会科学院语言研究所主催・於中国首

都師範大学)

八月二十六日 研究発表「日本語の配慮表現とその中国語
訳からわかること」(第十三回日本語コミュニケーション
ン研究会)

八月三十一日 中国遼寧省社会科学基金研究課題成果審査
終了「辽宁宗教和谐共建模式研究―基于『人间论』对话
理论的例证分析」(課題番号 L18BZJ002 2018-21年度
研究代表者陶金) 研究分担者

九月十八日 研究発表「応答発話における副詞『たしかに』
の機能再考―中国語との比較を兼ねて―」(第三回東ア
ジア日本学研究国際シンポジウム)

十月二十三日 論文「『践行创造价值』的全球公民―
基于『创价大学宏伟计划 (2021-2030)』的考察―」『第
十一回池田大作思想国際シンポジウム論文集』

十月二十三日 研究発表「『践行创造价值』的全球公
民―基于『创价大学宏伟计划 (2021-2030)』的考察―」(第
十一回池田大作思想国際シンポジウム・創価大学主催・
於創価大学)

一月〜十二月 科研費補助金基盤研究(B) 研究課題「日
本語配慮表現辞典の基盤形成のための配慮表現正用・誤
用データベースの構築」(課題番号 18H00680 2018-21
年度) 研究代表者山岡政紀) 研究分担者